

【がん化学療法レジメン】

宮崎県済生会日向病院 2024 年 12 月 1 日改訂 《無断転載禁止》

対象疾患	適応	レジメン名	コース期間	総コース数	催吐リスク
食道癌	■進行・再発 ☐術前補充療法 ☐術後補助療法	Pemb+5FU併用療法	21日間	規定無し	軽

	薬品名	投与量	投与経路	投与時間	day																											
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
①	生理食塩液	50mL	点滴静注	10分	↓																											
②	キイトルーダ 生理食塩液	200mg/body 100mL	点滴静注	30分	↓																											
③	生理食塩液	50mL	点滴静注	10分	↓																											
④	デキサート 生理食塩液	6.6mg 100mL	点滴静注	30分	↓	↓	↓	↓	↓																							
⑤	フルオロウラシル 生理食塩液	800mg/㎡ 1000mL	点滴静注	24時間	↓	↓	↓	↓	↓																							

《注意事項・備考》

・ 制吐療法：悪心嘔吐状況に応じてday1～ORA5mg/day 5日間考慮

・ Pemb+FP療法6コース目完遂後に移行

・ Pemb+FP療法選択患者でCDDP投与禁忌の際に選択を考慮